

呼吸器・感染症内科

研修の概要

呼吸器・感染症内科は、感染症、アレルギー疾患、肺癌、びまん性疾患など様々な分野の診療を行います。もちろん肺が中心となりますが、多彩な疾患に対応することで、幅広い知識を習得することができます。

習得できる知識や手技

- ・呼吸器疾患や感染症疾患に伴う臨床症状と身体所見を学ぶことができる。
- ・画像検査（胸部 X 線、胸部 CT など）の所見を読み取り、鑑別疾患を挙げ、適切な対応や診断と治療につなげることが可能となる。
- ・気管支鏡検査の目的や適応を理解し、観察・洗浄・生検といった処置に携わることができるようになる。
- ・感染症の診療を行い、抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬の適正な使用について学ぶことができる。
- ・肺癌に対する化学療法や放射線療法について、適応や効果判定、副作用への対応などを習得することができる。
- ・悪性疾患、非悪性疾患の終末期に触れることで、症状緩和や看取りについて学ぶことができる。

週間スケジュール

月	火	水	木	金
8:30-朝カンファ 午前:気管支鏡検査(内視鏡室) 午後:気管支鏡検査(透視室) 病棟業務	8:30-朝カンファ 病棟業務	8:30-朝カンファ 午前:気管支鏡検査(内視鏡室) 午後:気管支鏡検査(透視室) 16:00-カンファレンス、症例検討 病棟業務	8:30-朝カンファ 午後:気管支鏡検査(透視室) 病棟業務	8:30-朝カンファ 病棟業務

HP アドレス

<https://oita-resp.jp/>

連絡先(担当者)

医局長 吉川 裕喜 yoshi2@oita-u.ac.jp

